

第2学年

やさいの大きくなるひみつはっけん②

2年2組 25名

1. 単元名 「やさいの大きくなるひみつはっけん②」(大日本図書)

2. 単元目標

野菜を育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、野菜への親しみをもち、大切にすることができるようにする。

3. 指導について

(1) 児童について

アンケート項目	とても思う。	思う。	あまり思わない。	思わない。
①生かつのべんきょうは、たのしいですか。	57.1%	35.7%	7.1%	0%
②やさいづくりは、すきですか。	35.7%	39.3%	25.0%	0%
③やさいをそだてたいと思いますか。	65.5%	17.2%	13.8%	3.4%

【生活科アンケート第1回 実施日9月22日 全体25名】

1学期には、「やさいの大きくなるひみつはっけん①」の学習で、一人一鉢のミニトマトづくりを行った。成長の様子を定期的に観察し、小さな苗が変化していく様子を記録したり、その時々に見つけたことを友達と交流したりすることに楽しんで取り組んでいた。また、緑色だったミニトマトの実が赤くなったことを嬉しそうに報告したり、学年園で育ったきゅうり・おくら・万願寺とうがらし・なす・ピーマンの実を収穫する喜びを観察ノートに書いたりしていた。収穫後は家庭に持ち帰り、それぞれに食してもらった。

だが、学年園の野菜を渡した後に、「次はなにがもらえるの?」と言う子がいた。野菜を育てる過程をあまり経験することができなかったことで、作り手の喜び、楽しみ、工夫、苦労や植物の生命に気付くことができなかったのではないかと思う。アンケート結果では、また野菜を育てたいと思っている子どもが多いことから、1学期の取り組みをさらに発展させた形で栽培活動を行わせたいと考えた。子どもたちが積極的に栽培活動に関わり、野菜を育てることの大変さや新たな喜びに気付くことができる取り組みを展開していきたいと考える。

(2) 単元について

「やさいの大きくなるひみつはっけん②」では、野菜の栽培活動を行う。子どもたちにとって植物の栽

培は、毎日が発見や感動の連続である。自分の育てる植物の成長を楽しみながら、日々の関わりを深め、心を寄せながら世話をしていくようになる。継続的に世話をし、繰り返し関わる過程で、生命あるものを大切に育てる心を育む価値ある体験となり、そのことが生命の尊さを実感することにつながる。

栽培の過程において子どもたちは「もっと元気に育てほしい」「もっと上手に育てたい」という願いをもつ。そして、その願いを実現するために、土、水、気温、日照、肥料といった植物の生育条件に目を向けるようになる。さらに、働きかける中で、変化や成長の様子を比べたり、予想して見通しを立てたり、「どうしてほしいのかな」と植物の立場に立って考えたりするようになる。また、自らの働きかけに対して反応や結果を考えたり、継続してきた活動を振り返って自分とつなげて考えたりするようになる。継続的な栽培活動により、植物の特徴、育つ場所、世話の仕方、変化や成長の様子に気付くことはもちろん、それらと自分との関わりに気付いたり、自分自身の世話の仕方や世話してきた心持ちの変容などに気付いたりすることも大切にしたい。

(3) 指導について

指導にあたっては、「野菜を育てることの大変さや喜びを感じてほしい。」という教師の願いから、学年園での野菜の栽培を再び行う。子どもたちの野菜への関心を高めるために、9月には、学年園の野菜が枯れていたり、雑草が生えていたりするなど、1学期との様子が大きく変わっていることに気付かせる。10月には、5月から育てているサツマイモの収穫を行う。収穫したものを食べたり、つるでリースやかごを作ったりする。また、市立図書館から野菜の図鑑を借り、子どもたちがいつでも見られるような状況にする。さらに、給食で使われている野菜を毎日確認する。このように本単元が始まる前から、様々な形で子どもたちに気付きの場を提供していきたい。

本単元では、子どもたちが主体的に学習に取り組むために、以下の5つの手立てで学習を進める。

ア.野菜名人(地域の農家さん)から助言をもらう。

さつまいもを収穫した後の学年園の活用方法を野菜名人から学び、一緒に野菜が育ちやすい土をつくっていく。また、野菜名人には、11月から育てられる野菜について教えていただき、芽が出てから必要な世話の方法、収穫の仕方など、野菜の成長に合わせてアドバイスしていただく。

イ.育てる野菜を子どもたちの話し合い活動を通して選ばせる。

育てる野菜を自分たちで選ぶことで、野菜に対してより愛着がわくようにする。

ウ.観察したことや気付きをまとめる野菜ノートを作成させる。

野菜について調べたことや観察したことをワークシートにまとめ、積み重ねていく。また、子どもたちが chromebook を使用し、野菜の写真を継続的に撮ることで、成長について視覚的に捉えやすくする。

エ.子どもたちが野菜の図鑑や本などを手に取りやすい環境を準備する。

すぐに図鑑や本などを読むことができるように、できるだけたくさんの資料を用意する。

オ.収穫の満足感や充実感を目標にすることで子どもたちの意欲を高める。

野菜栽培の大きな魅力は最後の収穫である。収穫した後に、野菜をどのようにいかしていきたいかの見通しをもって学習を進める。

上記の手立てのもとに活動をすることで、野菜やその成長に興味をもち、より成長する方法やその

野菜にあった環境を野菜の立場に立って考えたり、調べたりするきっかけを作り出すことができる。そして、育てている野菜への思いや願いを高めていけると考える。同時に、野菜の立場になって世話をした経験が子どもたちの感性を豊かにする。野菜も人と同じように、寒さへの耐性や育て方の違いなどそれぞれの共通点や相違点があることに気付かせ、野菜の生命に触れさせたい。

また、対話的に学習する場面を設定することで、自分と他者の考えの共通点や相違点に気付かせたい。野菜を選ぶ場面では、自分の好き嫌い、その野菜に関わる個人的な思い出など「自己の思いを中心とした選び方」、野菜の特性を考慮した「野菜を中心とした選び方」、収穫した野菜の種をまいたり、学年園の広さなどの様子から考えたりする「環境を中心とした選び方」などが考えられる。収穫した野菜のいかし方を話し合う場面では、「自分たちで食べる」、「お世話になった野菜名人にお礼として渡す」、「1年生やお家の人を喜ばせるためにプレゼントする」など、子どもたちから多種多様な意見が出ると予想される。どの意見にも優劣があるものではないことを踏まえて整理することで、立場によって見方・考え方が違うことを知るきっかけになる。

このように、思いや願いを対話的に交流して学習を進めることで、子どもたちに気付きを促し、深めていくことができる。そして、この気付きから新たな課題を生み出すことで、子どもたちのさらなる思いや願いを引き出し、深い学びにつなげていきたい。

4. 単元の評価規準

単元の 評価規準		ア、知識・技能	イ、思考・判断・表現	ウ、主体的に取り組む態度
		野菜を育てる活動を通して、それらは生命をもっていることや成長していることに気付いている。	野菜を育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	野菜を育てる活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしていたりしている。
小 単 元 に お け る 評 価 規 準	1	①育てたい野菜について図鑑やインターネットで情報を集めている。	①収穫の見通しをもち、学年園で育てる野菜を考えている。	①育てたい野菜についての自分の考えを伝え、思いや願いを高めている。 ②野菜を育てることに関心をもち、愛着をもって関わり、粘り強く収穫まで世話をしている。
	2	②育てている野菜の成長に合った世話の仕方があることに気付いている。 ③植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	②野菜の育て方を調べて、世話の仕方を考え、工夫しながら関わっている。 ③いくつかの植物を比べて観察したことを多様な方法で表現したり、交流したりしている。	

	3		④収穫した野菜をいかすよりよい方法について考えている。	③収穫の満足感や達成感を味わい、今後も野菜を育てようとしている。
	4		⑤ 自分の栽培活動を振り返りながら、1年生に分かりやすい方法や内容を考え、伝え方を工夫している。	④野菜を育てて気付いたことを積極的に伝えようとしている。

5. 指導と評価の計画

次	時	○主な学習内容・学習活動 ・教師の支援	評価規準 評価方法
第1次 たねをまこう	1	○野菜名人と一緒に、土づくりをしよう。 主体的な学び ・野菜名人と土づくりをすることで、学年園で育てる野菜への期待をふくらませるようにする。	
	2 (本時)	○育てたい野菜を伝え合おう。 主体的・対話的で深い学び ・子どもたちの思いや願いを引き出し、野菜を育てる意欲を高めさせる。	ウ-① ワークシート
	3 4	○育てたい野菜について調べよう。 主体的な学び ・自分が育てたい野菜について、本やインターネットで調べさせる。	ア-① イ-① ワークシート
	5	○育てる野菜を決めよう。 ・野菜名人の話聞き、学年園で育てる野菜を決めさせる。	
	6	○たねをまこう。 ・野菜名人に種のまき方や育て方について教えてもらう。 ・野菜が成長し、収穫できる喜びを膨らませながら種をまかせる。	ウ-② 行動観察
	第2次 大きくそだてよう	7 8	○世話の仕方を考え、交流しよう。 主体的・対話的な学び ・野菜を育てるために大切なことを図鑑やインターネットで調べさせ、植物の生育条件に気付かせる。 ・全体で世話の仕方について共有させる。 ・調べたことをもとに植物がより成長できるように環境を整えさせる。 ・野菜の立場に立って考えさせる。

	9	○野菜の観察をし、伝えよう。	ア-③
	10	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">主体的・対話的で深い学び</div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が育てている野菜と他の野菜を比べて、共通点や相違点に気付かせる。 ・気付いたことを交流し、新たな気付きを見つけさせる。 	イ-③ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ワークシート</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行動観察</div>
第3次 しゅうかくしよう	11	○収穫した野菜をどうするか考えよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">対話的な学び</div> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫した野菜のいかし方を話し合い、多くの人が喜びを感じられる方法を決めさせる。 	イ-④ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発言</div>
	12	○野菜を収穫しよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">主体的な学び</div> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの野菜に適した時期や収穫の方法で野菜を収穫させる。 ・野菜を収穫できる満足感や充実感を味わわせる。 	ウ-③ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ワークシート</div>
第4次 1年生に伝えよう	13	○1年生に伝える方法を考えよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">主体的・対話的で深い学び</div> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の上手な育て方が分かるよりよい方法を考えさせ、2年生としての役割を果たすことができるようにする。 ・頑張った世話をした経験から、成長した自分を振り返らせる。 	イ-⑤ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行動観察</div>
	14	○1年生に伝えよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">主体的な学び</div> <ul style="list-style-type: none"> ・よい発表の仕方を意識させ、自信をもって発表させる。 	ウ-④ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行動観察</div>

6. 本時

(1) 本時の目標

◎育てたい野菜について考えたことを伝え合い、その思いや願いを高める。

(2) 本時の展開

学習内容	●指導上の留意点	評価規準 評価方法 ○準備物
1. 本時の学習課題を確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 学年園でそだてたいやさいについて伝え合おう。 </div>		
2. それぞれが育てたい野菜のカードを黒板に貼る。		○野菜カード
3. 育てたい野菜についてワークシートに書き、となりの人と交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 育てたい理由と収穫後のいかし方についてワークシートに書き、交流させる。 ● 自分の思いや願いを伝えることと友だちの意見を聞くことが大切であることを伝える。 	○ワークシート
4. 全体の場で、育てたい野菜について発表し、気づいたことを伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 育てたい野菜とその思いや願いを発表させる。 ● 友だちの話を聞くことで、自分とは違う多様な意見や考え方があることに気付かせる。 	ウ-① 行動観察
5. 今日の学習を振り返り、次時の活動内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 次時に、育てたい野菜について調べたことを伝える。 ● ワークシートに今日の気付きやわかったことをまとめさせる。 	